

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21587
事業名	(一財)札幌勤労者職業福祉センター事業補助金					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 雇用労働課				
	課長名	佐々木 薫	担当者名	伊藤 大輔	電話番号	011-211-2278
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費		<input type="radio"/> 臨時的経費			
	<input type="radio"/> 内部管理		<input type="radio"/> 法定経費		<input type="radio"/> 指定管理	
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input checked="" type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	プールは市の公的温水プールとして、中学生以下、高齢者及び障がい者の利用料減免を目的とする。音楽ホールは北区・東区で唯一の音楽ホールとして、施設の安定運営と多くの市民利用を図ることを目的とする。			
		長期	勤労者の雇用と福祉に関する事業を総合的に行い、勤労者の雇用の促進と福祉の向上に寄与することを目的とする。			
	取組内容	札幌勤労者職業福祉センター(札幌サンプラザ)を運営する一般財団法人札幌勤労者職業福祉センターの文化体育部門事業にかかる必要経費の一部補助を行う。 ①市の公的温水プールとして運営するプールの中学生以下、障がい者及び高齢者の利用料金の減免分を補填 ②北区・東区では唯一の音楽ホールとして運営する必要経費の一部を予算の範囲内で補填				
実施結果	①プール減免補填分:11,324千円(過去3年平均) ②音楽ホール収支差補助:32,000千円(前年度同額) ③新型コロナウイルス感染症対策費:2,000千円 ④新型コロナウイルス感染症拡大に伴うプール及び音楽ホールの休館に伴う減収補填:11,744千円					
事業実施における工夫点	当該財団の経営状況を注視する。					
対象者	施設利用者	開始	0年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	他都市の類似施設においても管理運営団体への財政的な支援は行われている。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	72,324	45,324	57,068	315,324
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160
計(事業費+人件費)	74,484	47,484	59,228	317,484
事業費の内訳	令和3年度決算	①プール減免補填分:11,324千円(過去3年平均) ②音楽ホール収支差補助:32,000千円(前年度同額) ③新型コロナウイルス感染症対策費:2,000千円 ④新型コロナウイルス感染症拡大に伴うプール及び音楽ホールの休館に伴う減収補填:11,744千円		
	令和4年度予算	①プール減免補填分:11,324千円(過去3年平均) ②音楽ホール収支差補助:32,000千円(前年度同額) ③新型コロナウイルス感染症対策費:2,000千円 ④設備改修・更新補助:270,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	財団の事業収入(単位;千円)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	456,082	650,288	653,618	797,437
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	施設の利用人数(単位;人)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	174,617	318,446	214,861	271,495
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	当該財団における人件費及び委託費の削減や、ESCO事業などの経費削減努力に加えて、本事業の実施により経営することが可能であり、プール及び音楽ホールの安定運営と安価な利用料によるサービス提供が実現している。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	プールへの補助は、公的温水プールとしての児童・生徒(小・中学校)、高齢者及び障がい者の利用料減免分の補填であり、補助水準は妥当である。音楽ホールへの補助は、北区・東区で唯一の本格的音楽ホールの安定運営及びサービスの安価提供のために、必要経費の一部(収支差)を予算の範囲内で補助しており、補助水準は妥当である。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館に伴う減収分について補填した。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	施設の安価利用を通じて、市民のスポーツ及び文化活動の振興に寄与していることから、プール利用料減免分の補填及び音楽ホールの収支差補助は、事業手法として適切である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	新型コロナウイルス感染症拡大により、休業措置を行うなどの影響を受けているが、同感染症拡大前の利用者数はプールが82千人、音楽ホールが64千人、両施設合計で146千人程度の利用があり(いずれも平成30年度実績)、安定かつ安価な施設利用が可能である点について、利用者の満足度が高い。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	プール及び音楽ホールのいずれにおいても、引き続き多くの利用者に安定した公益的サービスを提供するため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に注視しながら、財団による経費削減努力等を図っていく。			
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プール及び音楽ホールの維持に当たって当初予算を一部見直し、追加減収補填に関する補助金を交付したことによる。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 プール事業は市の公的温水プールとしての減免補填、音楽ホール事業は収支差相当の補助を引き続き実施する。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本事業が維持できるよう支援等の検討を行う。		
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 老朽化した設備の改修・更新に要する必要経費を補助することにより、施設利用者が安心・安全に利用することができるよう予算を拡充する。		見直し効果額 0 千円